

2009年3月期 決算説明会



ダイセル化学工業株式会社
DAICEL CHEMICAL INDUSTRIES, LTD.

2009年5月15日

目次

2009年3月期実績

業績概要

売上高・営業利益推移

償却前営業利益推移

連結の範囲

連結損益計算書

売上高・営業利益分析

セグメント情報

P3～P14

P3

P4

P5

P6

P7

P8

P9～P14

2010年3月期見通し

業績見通し

売上高・営業利益推移

売上高・営業利益分析

セグメント情報

設備投資額推移

09年度に稼働予定の主な設備

Topics

減価償却費推移

研究開発費推移

P15～P27

P15～P16

P17

P18

P19～P22

P23

P24

P25

P26

P27

連結貸借対照表

総資産・有利子負債推移

P28

P29

(参考)2010年3月期業績予想

P30

予測に関する注意事項

P31

業 績 概 要

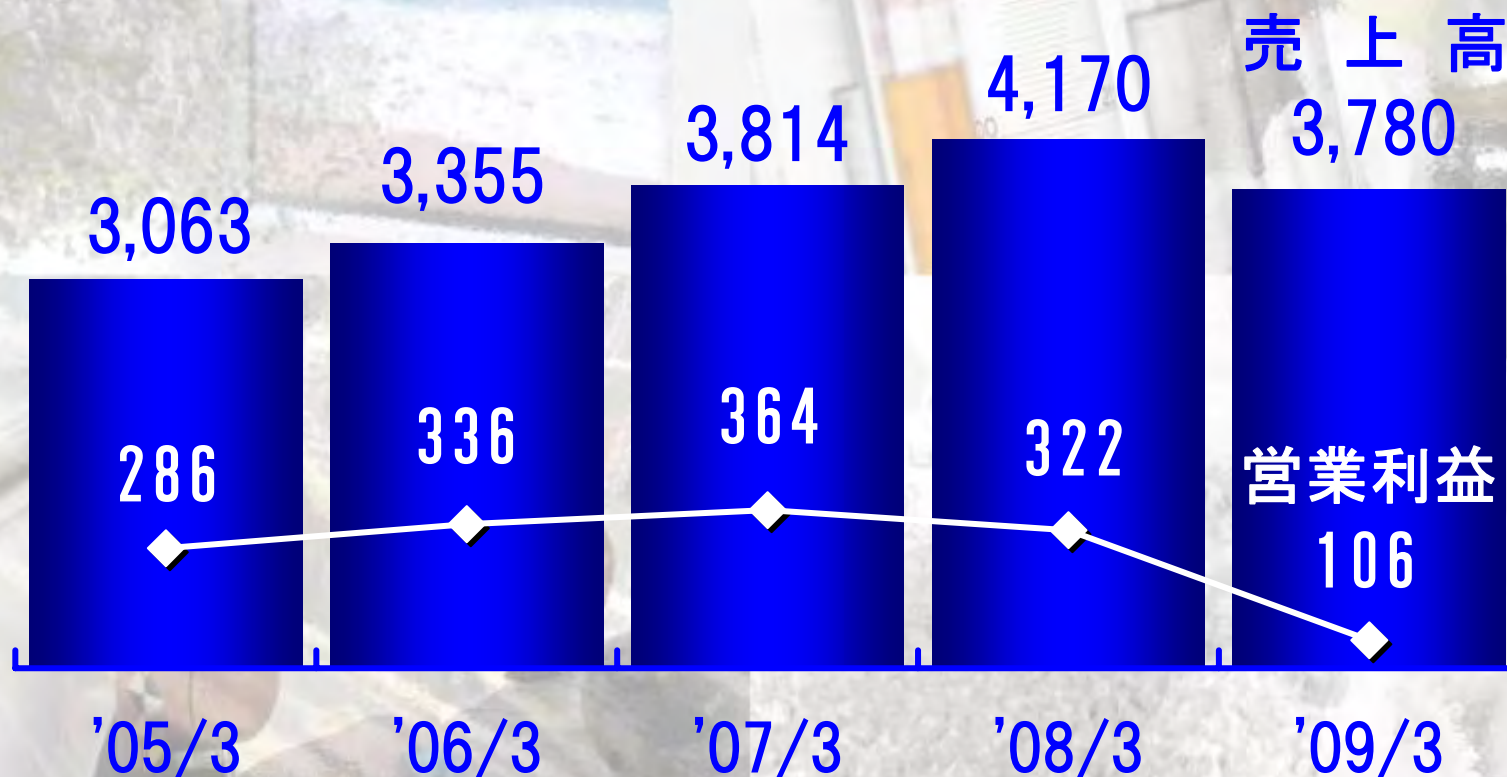
(単位:億円)

	2008/3	2009/3	増減	増減率
売上高	4,170	3,780	△390	△9.4%
営業利益	322	106	△216	△67.1%
経常利益	279	82	△197	△70.5%
当期純利益	137	13	△124	△90.5%

為替レート	117円	103円
-------	------	------

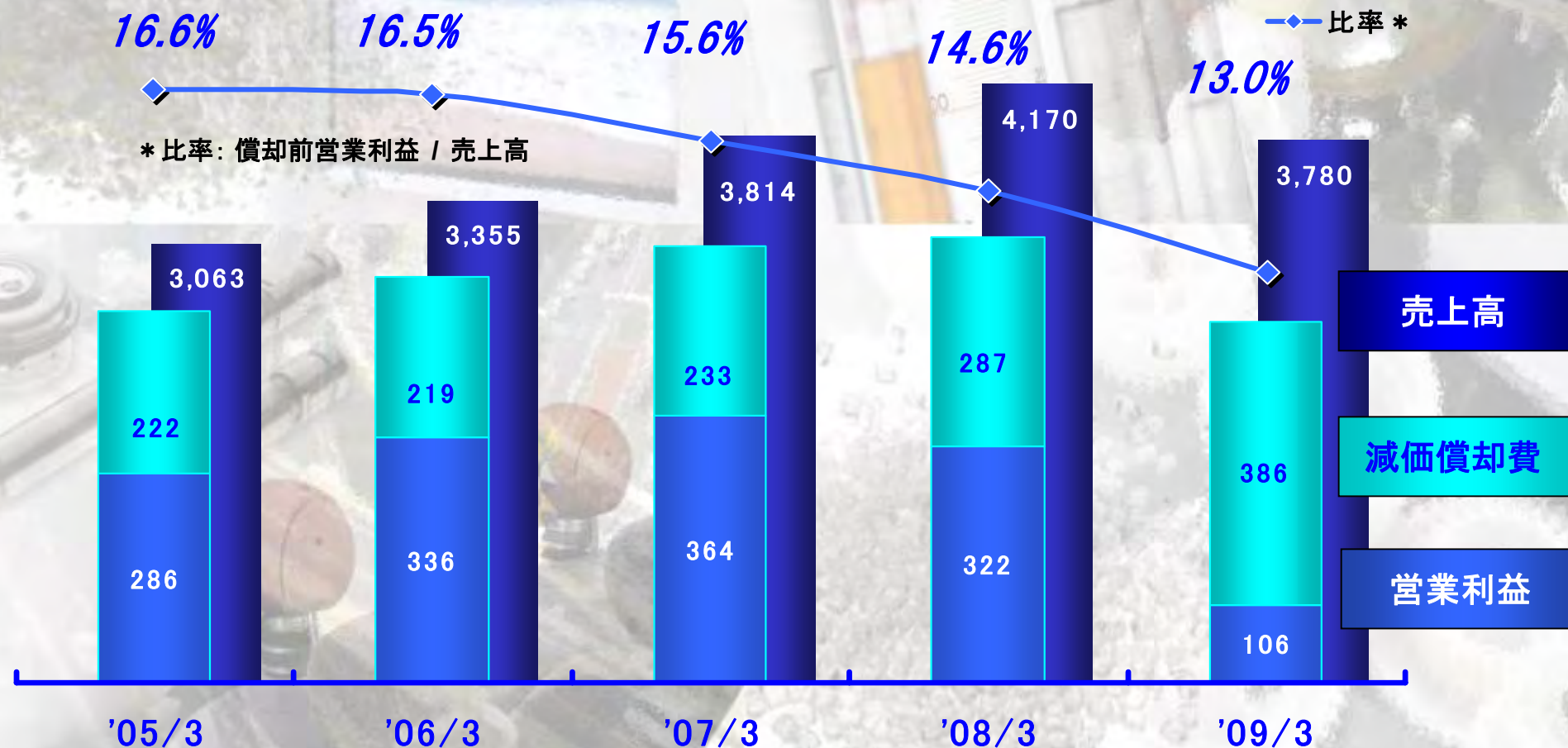
売上高・営業利益推移

(単位: 億円)



償却前営業利益推移

(単位: 億円)	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3
売上高	3,063	3,355	3,814	4,170	3,780
償却前営業利益	508	555	597	608	492



連結の範囲

	2008/3	2009/3	増減
連結子会社数	48社	46社	△2社
持分法適用会社数	12社	10社	△2社
計	60社	56社	△4社

- 連結子会社 △2社

三国プラスチック(株)
Daicel (Hong Kong) Ltd.

- 持分法適用会社 △2社

三国プラスチック(株)傘下企業2社

連結損益計算書

単位: 億円

	2008/3	2009/3	増減	備 考
売上高	4,170	3,780	△ 390	ダイプラGr. ,三国プラ除外△143、数量差△255 単価差+8(価格+221、為替△213)
売上総利益	900	649	△ 251	
販売費及び 一般管理費	578	543	△ 35	ダイプラGr. 除外△25、 販売数量減による販売直接費△12
営業利益	322	106	△ 216	数量影響△127、価格影響△63(内、為替△68)
営業外損益	△ 43	△ 24	+19	金融収支の改善 +8、為替損益の改善 +4
経常利益	279	82	△ 197	
特別損益	△ 7	△ 19	△ 12	
税金等調整前 当期純利益	271	63	△ 209	
法人税等、 少数株主利益	135	50	△ 85	
当期純利益	137	13	△ 124	
為替	117円	103円		

売上高・営業利益分析

【売上高】

単位：億円

	2008/3	2009/3	増減	分 析	
				数量差	単価差
セルロース	725	724	△1	△65	+64
有機合成	1,012	911	△102	△95	△7
合成樹脂	1,713	1,482	△232	△222	△10
火 工 品	654	600	△54	△15	△39
そ の 他	66	64	△1	△1	-
合 計	4,170	3,780	△390	△398	+8

【営業利益】

単位：億円

	2008/3	2009/3	増減	分 析		
				数量影響	価格影響	その他
セルロース	83	22	△61	△36	+10	△34
有機合成	117	47	△70	△46	△20	△3
合成樹脂	143	80	△63	△46	△31	+14
火 工 品	56	27	△30	+1	△23	△8
そ の 他	6	6	+1	+1	-	-
全 社	△83	△76	+7	-	-	+7
合 計	322	106	△216	△127	△63	△25

セルロース事業セグメント

売上高

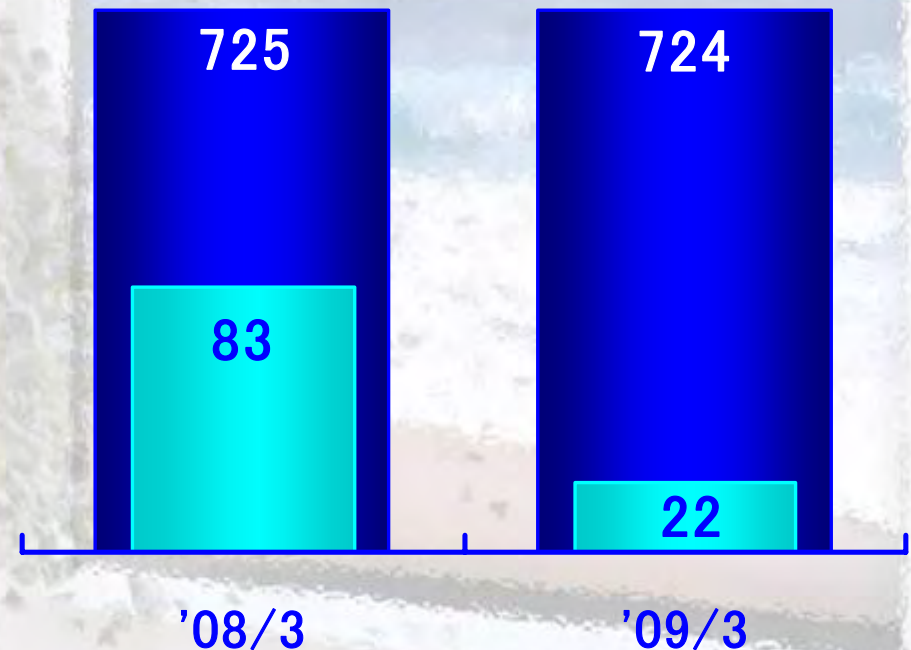
- ・酢酸セルロース + 1億円
- ・たばこフィルター用トウ △ 7億円

(為替の影響 △51億円)

(単位:億円)

営業利益

- ・LCD 需要減によるTAC数量減
- ・円高の影響



2008年5月

液晶光学フィルム用酢酸セルロース(TAC)製造設備竣工



これにより、TACの製造能力は 約1.8倍に

有機合成事業セグメント

売上高

(単位: 億 円)

1,012

117

'08/3

911

47

'09/3

- ・酢酸 需要の減少と円高の影響 $\Delta 45$ 億円
- ・酢酸誘導品等の汎用品と機能品 $\Delta 51$ 億円

上半期: 需要堅調、原料高を価格転嫁

下半期: 需要減少と円高の影響

・CPI

円高の影響 等

$\Delta 6$ 億円

(為替の影響 $\Delta 40$ 億円)

営業利益

- ・上半期: 網干工場操業度アップが
寄与し増益
- ・下半期: 需要の落ち込み、価格ダウン、
円高で赤字

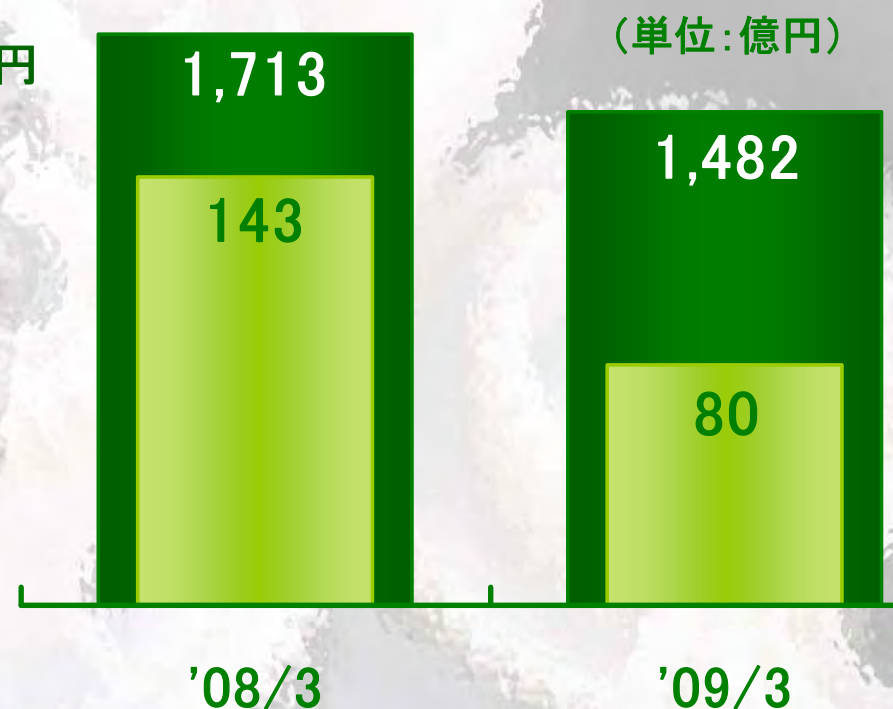
合成樹脂事業セグメント

売上高

- ・ダイプラGr.および三国プラ連結除外 $\Delta 143$ 億円
- ・ポリプラスチックス(12月決算) $\Delta 54$ 億円
10月以降の需要減、円高の影響
- ・ダイセルポリマーGr. $\Delta 30$ 億円
10月以降の数量減
(為替の影響 $\Delta 84$ 億円)

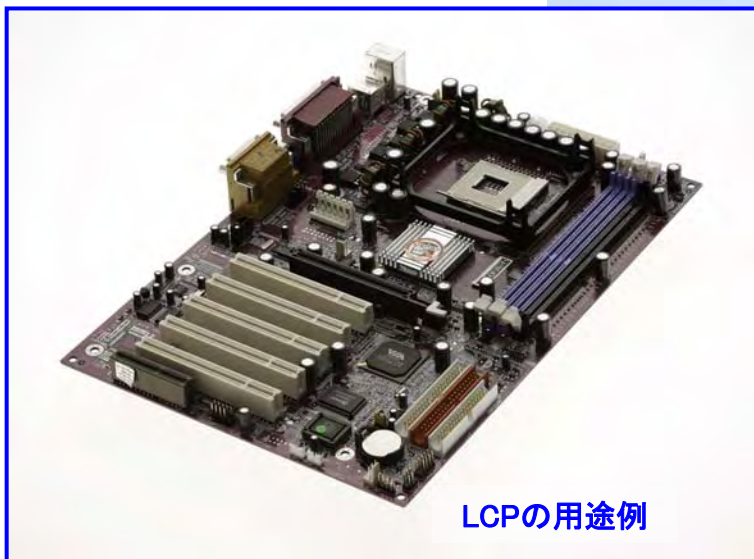
営業利益

- ・ポリプラスチックス $\Delta 49$ 億円



Polyplastics

ポリプラスチックス(株) 富士工場、
液晶ポリマー(LCP)ベクトラ®のポリマー重合能力増強
富士工場のLCP重合能力：
5,200トン/年 → 10,000トン/年



LCPの用途例



LCP重合設備外観

火工品事業セグメント

売上高

・MSD事業

自動車販売減による販売数量の減少

4,242万個 ⇒ 4,196万個

円高の影響

・特機事業

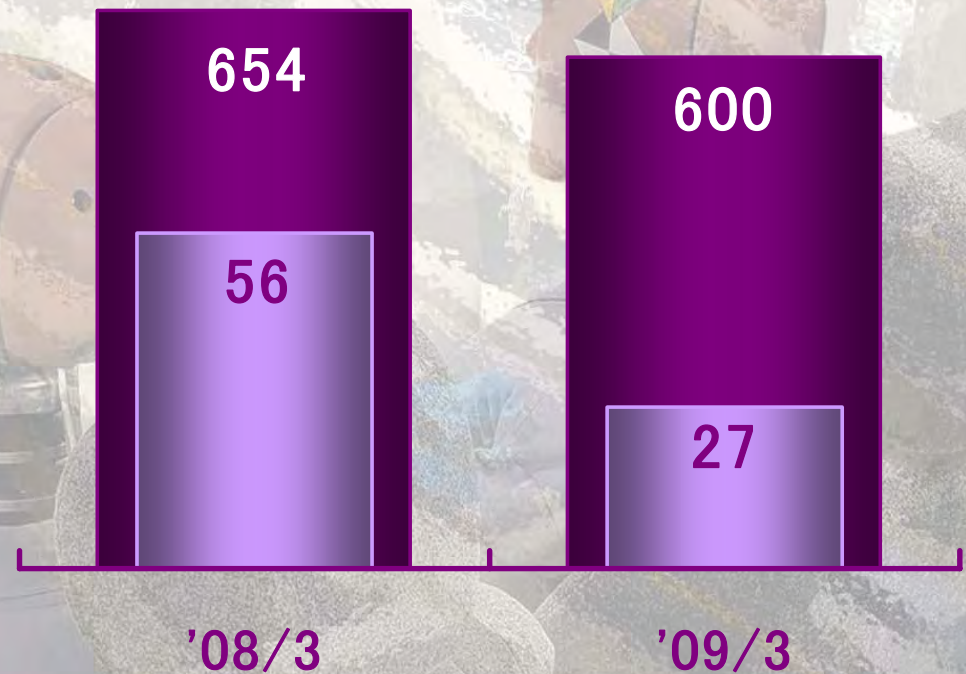
調達数増

(為替の影響 △39億円)

営業利益

・自動車需要減速の影響

(単位:億円)



2010年3月期業績見通し

前提条件

		2008年上期実績		2008年下期実績		2009年上期計画		2009年下期計画	
為替レート		105円		100円		95円		95円	
原料	メタノール (欧米コントラクト価格)	1Q	\$480	3Q	\$470	1Q	\$235	3Q	\$235
		2Q	\$485	4Q	\$425	2Q	\$235	4Q	\$235
	原油(ドバイ)	\$115		\$48		\$60		\$60	
	国産ナフサ	78,200円		39,600円		30,000円		30,000円	

2010年3月期業績見通し

(単位:億円)

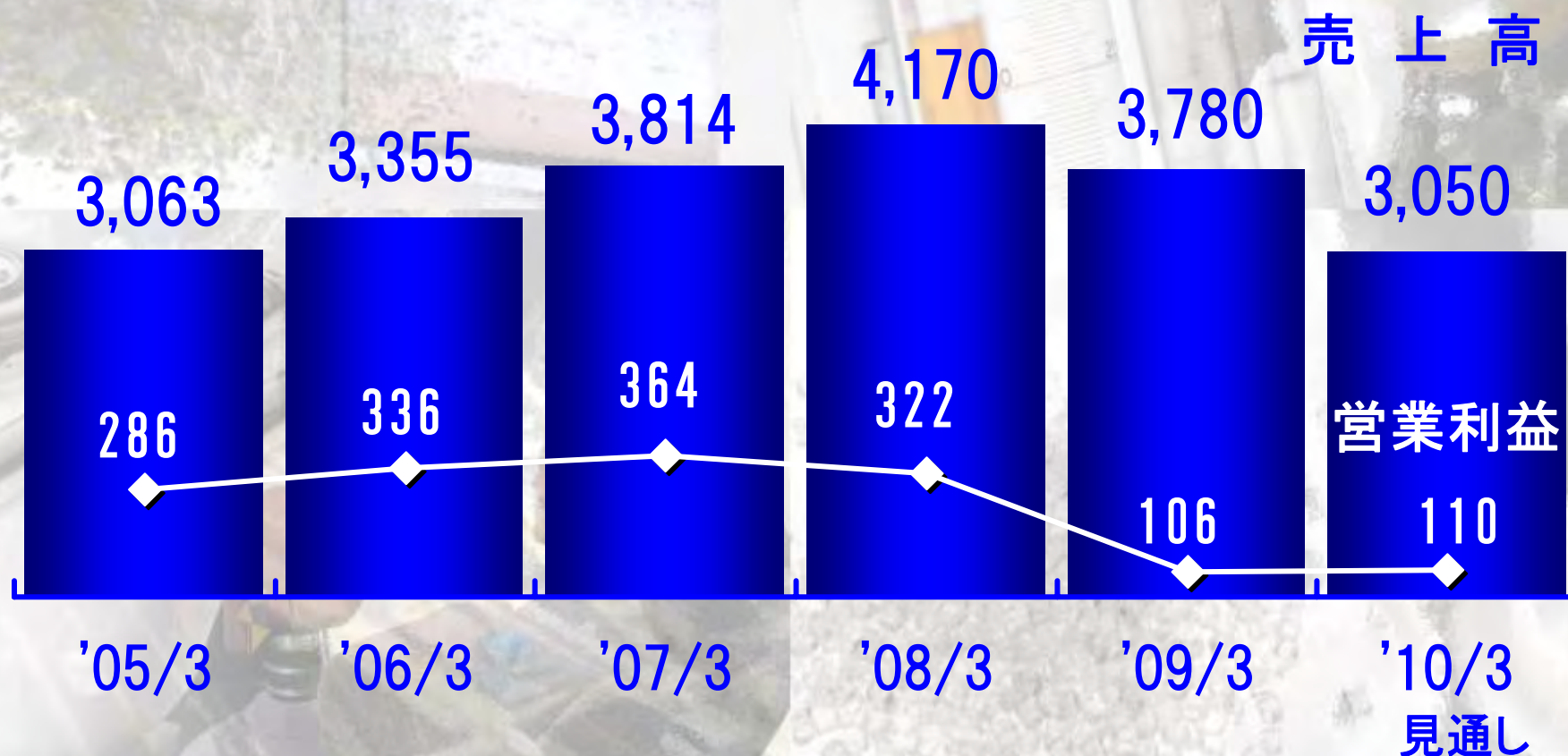
	2009/3 実績	2010/3見通し	増減	増減率
売上高	3,780	3,050	△730	△19.3%
営業利益	106	110	+4	+3.9%
経常利益	82	90	+8	+9.6%
当期純利益	13	45	+32	+247.2%

為替レート	103円	(前提) 95円
-------	------	----------

売上高・営業利益推移

(単位: 億円)

コストダウンにより 収益力を高め、
再び増益基調に向け新たなスタートを切りたい



売上高・営業利益分析

【売上高】

単位: 億円

	2009年3月期 実績	2010年3月期 見通し	増減	分 析	
				数量差	単価差
セルロース	724	716	△8	△52	+44
有機合成	911	744	△167	△31	△136
合成樹脂	1,482	1,029	△453	△356	△96
火 工 品	600	501	△99	△74	△25
そ の 他	64	60	△4	△4	-
合 計	3,780	3,050	△730	△517	△212

【営業利益】

単位: 億円

	2009年3月期 実績	2010年3月期 見通し	増減	分 析		
				数量影響	価格影響	その他
セルロース	22	88	+66	△24	+67	+23
有機合成	47	52	+5	+0	△8	+13
合成樹脂	80	10	△70	△131	+19	+42
火 工 品	27	30	+3	△39	△4	+47
そ の 他	6	6	△0	△0	-	-
全 社	△76	△76	△0	-	-	△0
合 計	106	110	+4	△194	+74	+124

セルロース事業セグメント

酢酸セルロース

LCDフィルム向けTAC

期後半に向かって回復傾向を想定

年間では前期比で数量減

原燃料価格の下落

経費削減等のコストダウン

(単位:億円)

アセテート・トウ

価格是正

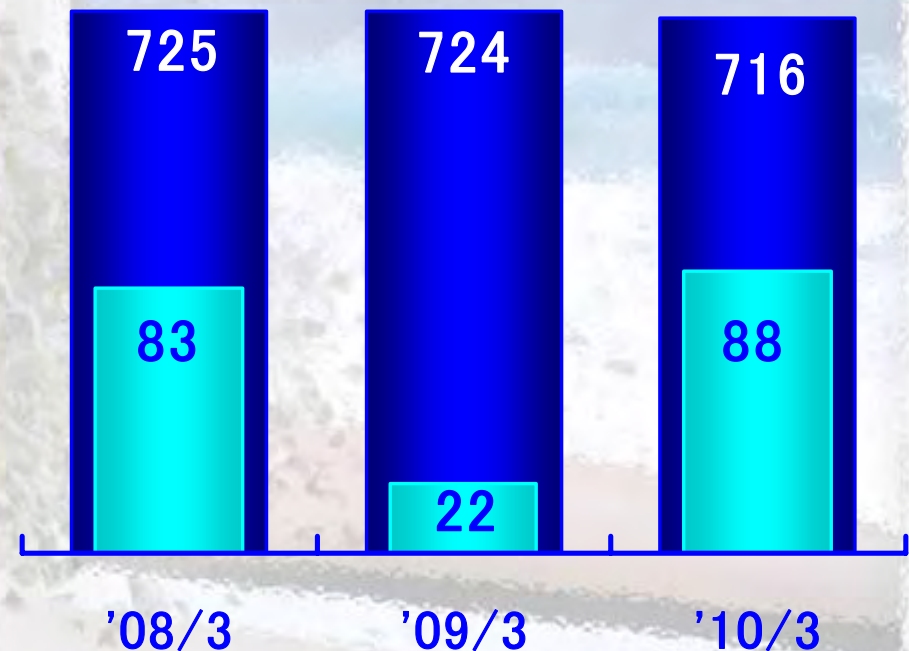
原燃料価格の下落

大竹工場新設備の償却費減少

網干工場 操業度ダウン

(2年に1度の定期修繕 ほか)

経費削減等のコストダウン



有機合成事業セグメント

(単位: 億円)



有機合成

'09／前半は、需要低迷
'09／後半は、ある程度回復ながら
'08／上期のレベルには戻らない
修繕費削減などコストダウン

C P I

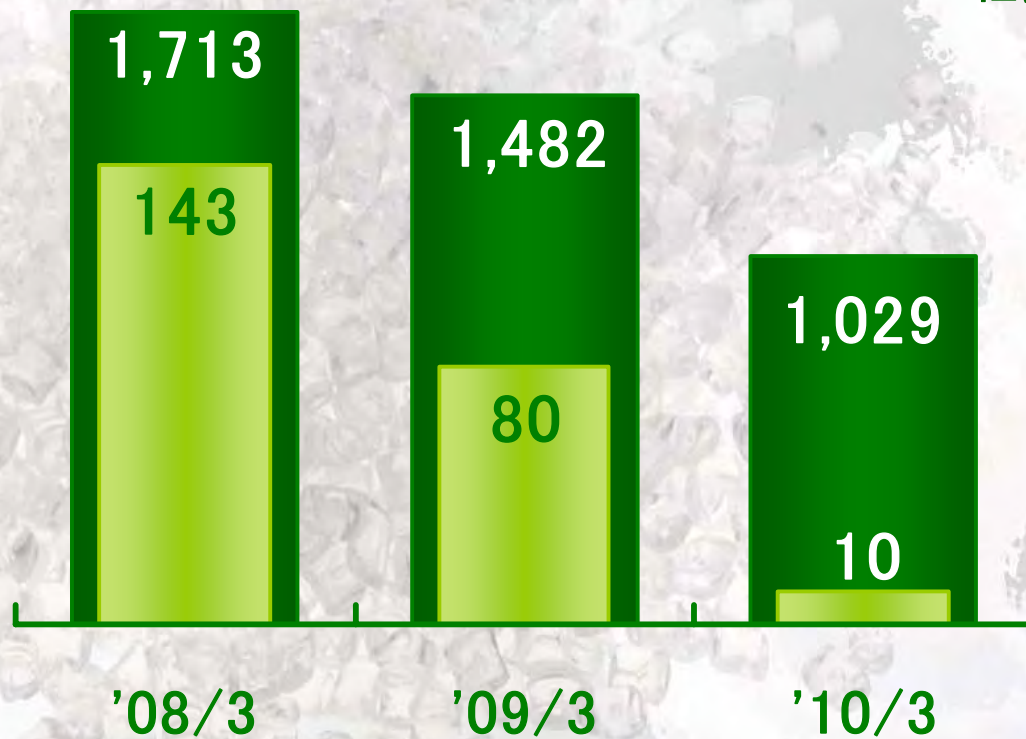
キラル世界5極体制確立
(日・米・欧・中・印)

→ 中国、インド市場へ攻勢

合成樹脂事業セグメント

ポリプラスチック（12月決算）

（単位：億円）



需要減により減収減益
経費削減等によるコストダウン

火工品事業セグメント

インフレータ事業

インフレータ販売数量

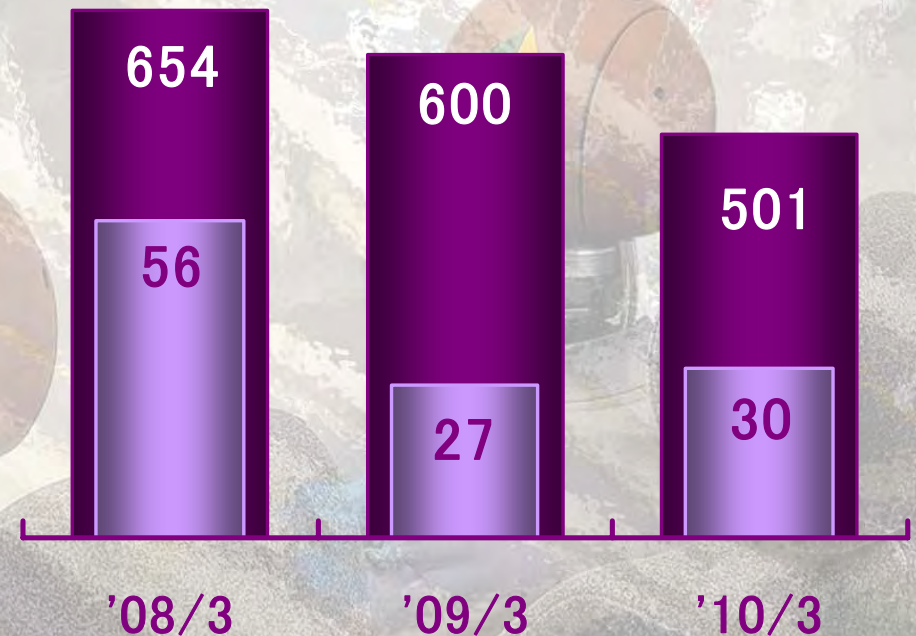
2007年度 4,242万個

2008年度 4,196万個

→ 2009年度 3,600万個
(約△600万個)

最適生産体制・人員体制の見直し等
によるコストダウン

(単位:億円)

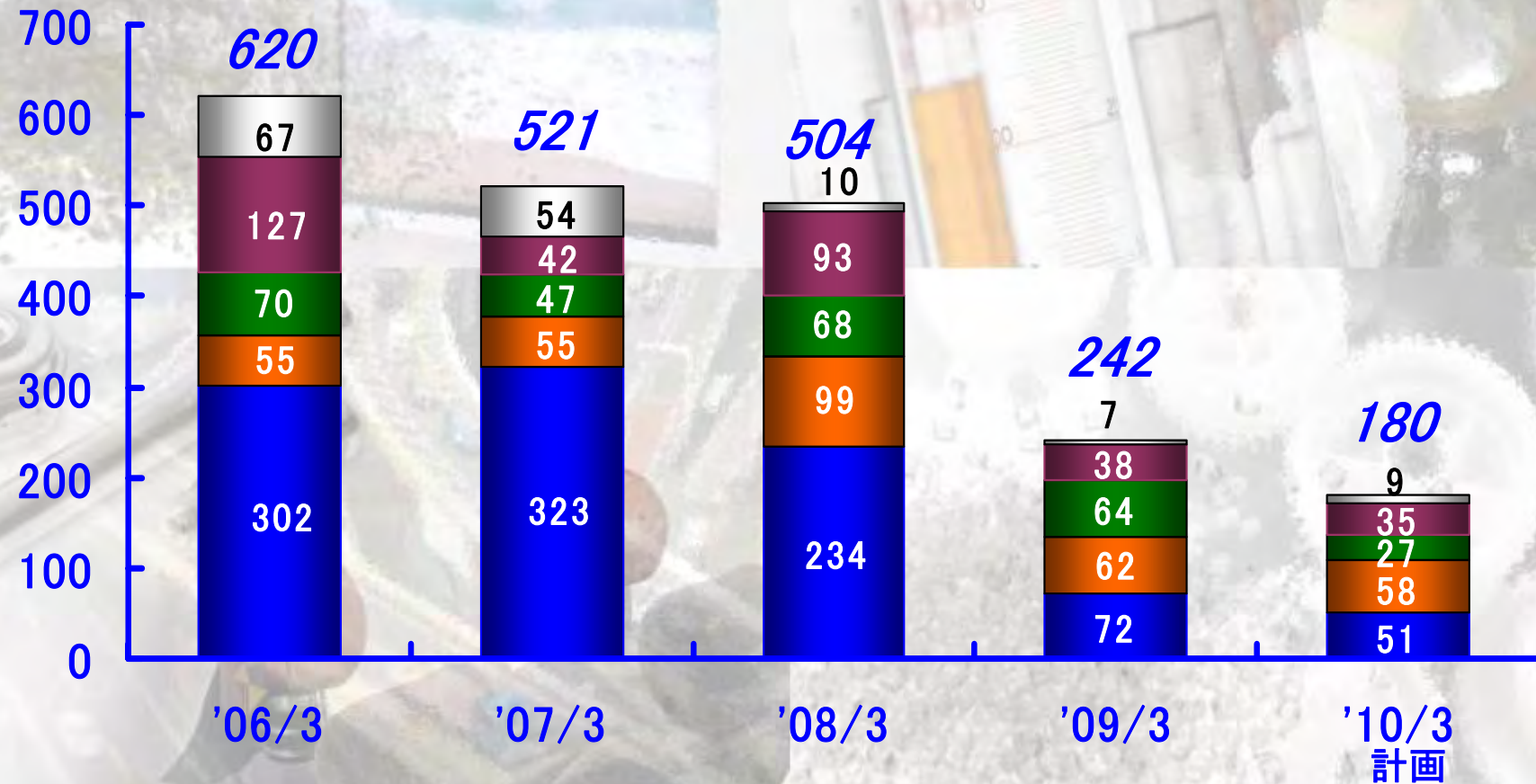


特機事業

防衛関連は堅調

設備投資額推移

単位: 億円



下から セルロース、有機合成、合成樹脂、火工品、その他全社

'09年度に稼動予定の主な設備

- エステル法酢酸エチル製造設備(大竹工場)
'09／7月稼動予定
- 脂環式エポキシ樹脂製造設備(大竹工場)
'09／12月稼動予定
- たばこフィルター用アセテート・トウ製造設備(網干工場)
スーパースリムたばこ向け
'10／1月稼動予定



バイオエタノール
Bioethanol

エチルアミン

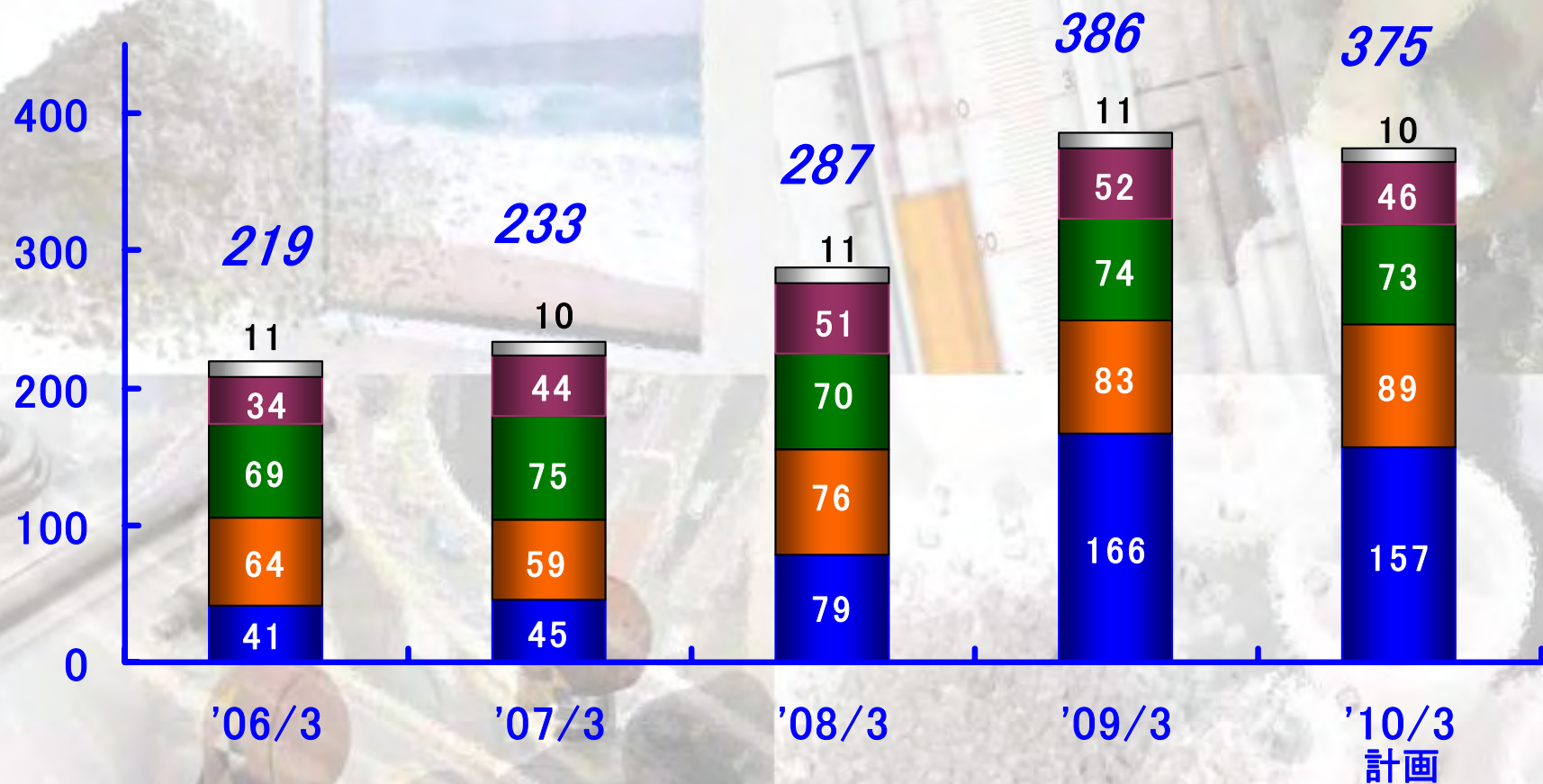
酢酸エチル

大竹工場で、
2007年末にエチルアミンの原料をバイオエタノールに転換
2009年、エステル法による酢酸エチル製造設備が完成

化石原料からバイオマス原料に転換し、
持続可能な発展と競争力の強化に努めています。

減価償却費推移

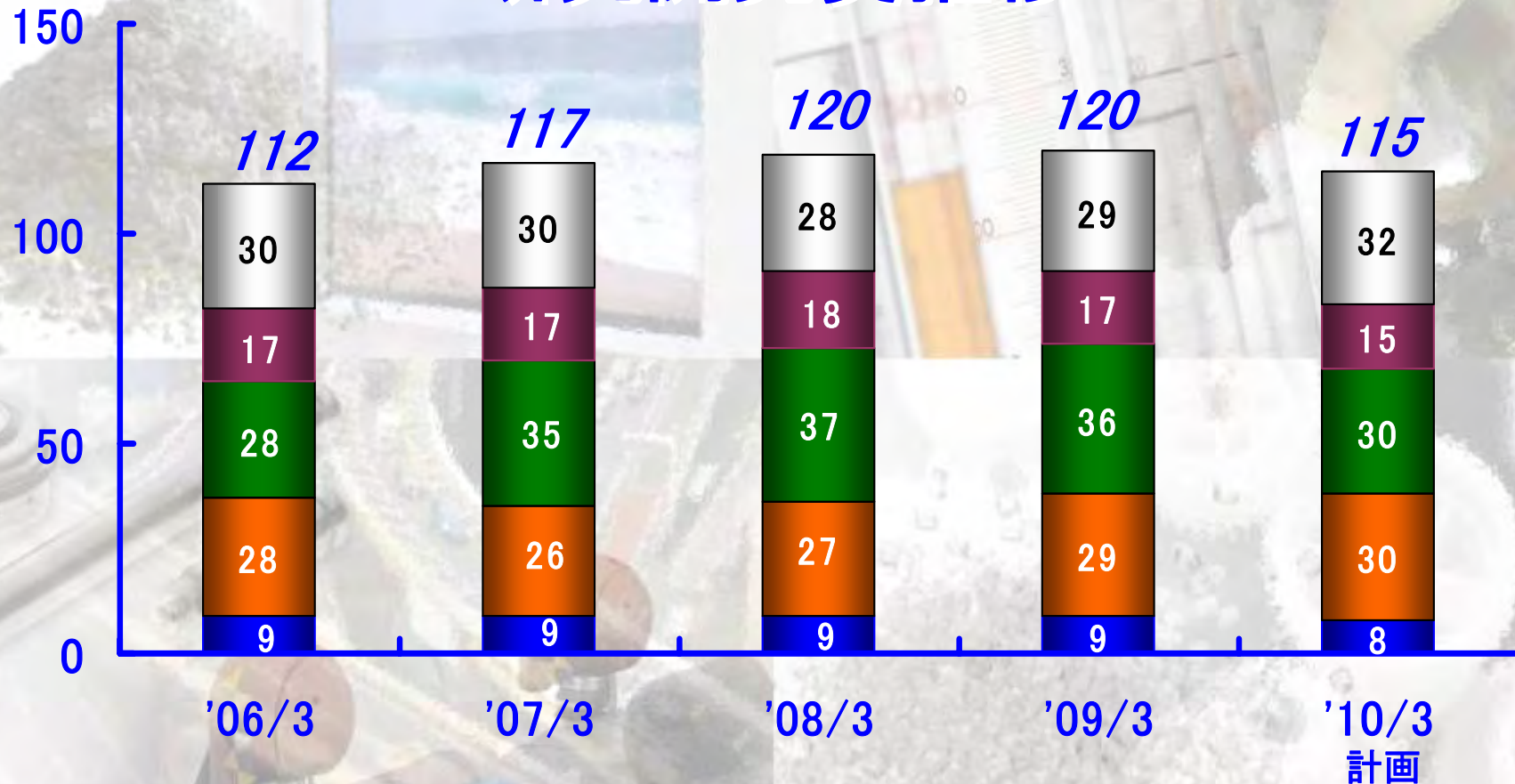
単位: 億円



下から セルロース、有機合成、合成樹脂、火工品、その他全社

研究開発費推移

単位: 億円



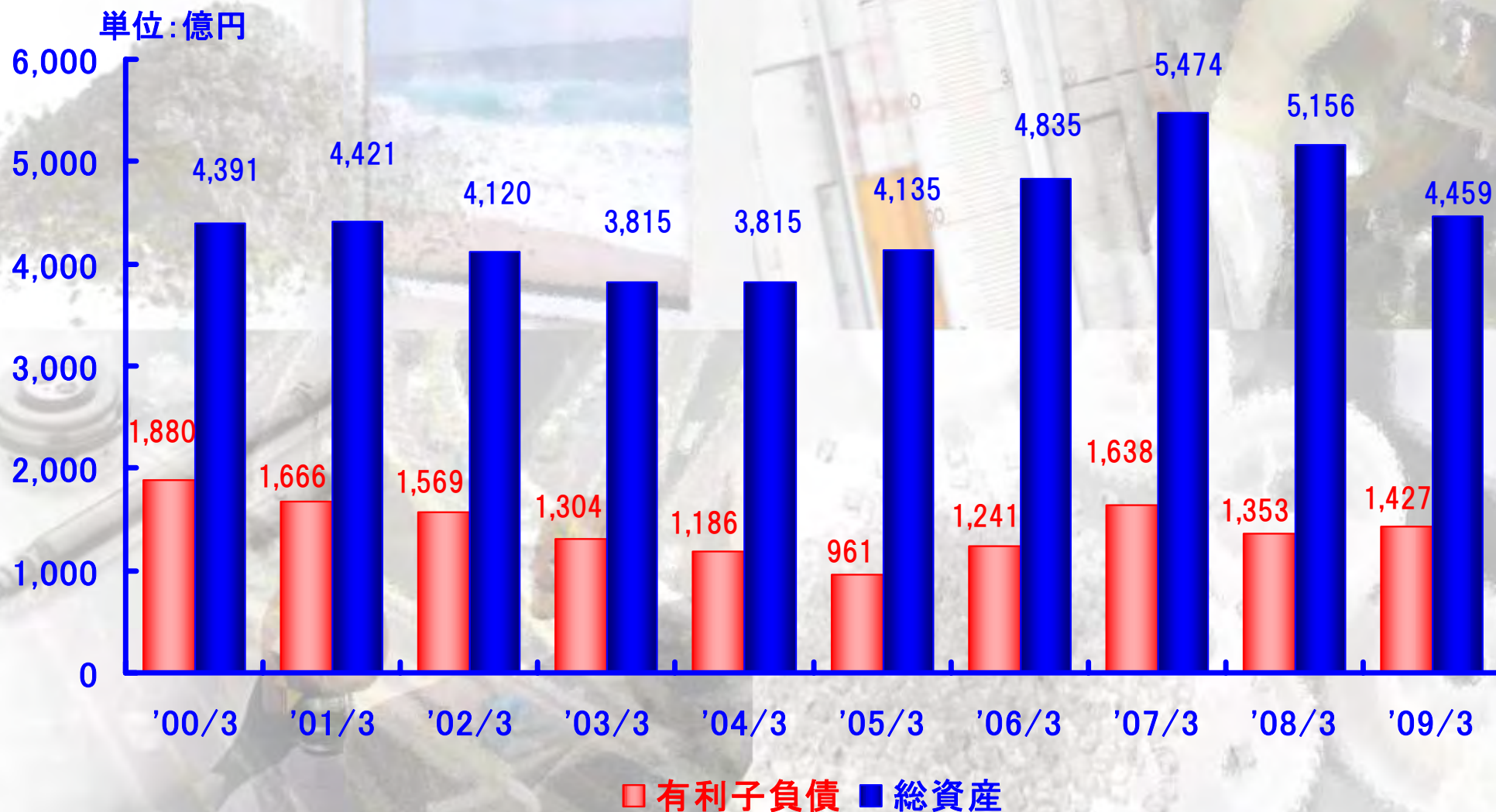
下から セルロース、有機合成、合成樹脂、火工品、その他全社

連結貸借対照表

単位: 億円

	2008年3月末	2009年3月末	増減	備 考
流動資産	2,078	1,856	△223	
現金及び預金	208	305	+98	手元流動性確保
受取手形及び売掛金	905	597	△308	売上減
棚卸資産	733	760	+27	
その他	232	193	△39	
固定資産	3,078	2,604	△474	
有形固定資産	2,229	1,963	△266	取得235、償却△373、為替換算差△98
無形固定資産	54	39	△15	
投資その他資産	795	601	△194	投資有価証券△199
資産合計	5,156	4,459	△697	
負債	2,765	2,344	△420	
有利子負債	1,353	1,427	+74	有利子負債比率32%
その他	1,412	917	△495	
純資産	2,391	2,115	△277	
負債純資産 合計	5,156	4,459	△697	

総資産・有利子負債推移



(参考) 2010年3月期業績予想(対前年)

(単位:億円)

	2009/3				2010/3				年間増減
	1Q実績	上期実績	下期実績	合計	1Q予想	上期予想	下期予想	合計	
売上高	1,012	2,092	1,688	3,780	660	1,410	1,640	3,050	△ 730
セルロース	177	389	334	724	181	348	368	716	△ 8
有機合成	267	538	373	911	163	348	396	744	△ 167
合成樹脂	390	797	685	1,482	204	461	568	1,029	△ 453
火工品	163	334	265	600	101	225	276	501	△ 99
その他	14	34	31	64	11	28	32	60	△ 4
営業利益	80	169	△ 64	106	△ 20	△ 10	120	110	+ 4
セルロース	18	57	△ 35	22	20	39	49	88	+ 66
有機合成	38	64	△ 17	47	△ 1	12	40	52	+ 5
合成樹脂	25	52	28	80	△ 14	△ 23	33	10	△ 70
火工品	17	31	△ 5	27	△ 6	△ 2	32	30	+ 3
その他	1	4	2	6	0	2	4	6	△ 0
全社	△ 19	△ 39	△ 37	△ 76	△ 19	△ 38	△ 38	△ 76	△ 0
経常利益	84	167	△ 85	82	△ 25	△ 20	110	90	+ 8
当期純利益	48	89	△ 76	13	△ 20	△ 25	70	45	+ 32

(為替の実績及び想定) (105円) (105円) (100円) (103円) (95円) (95円) (95円) (95円)

予測に関する注意事項

★本資料は情報の提供を目的としており、本資料により何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものではありませんが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

★ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はダイセル化学工業(株)に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。